

米国ニューヨーク市におけるアライグマの狂犬病

2010年2月17日 ProMED 情報

(New York City Department of Health and Mental Hygiene press release)

〔ニューヨークの行政区〕



ニューヨーク市で確認された狂犬病感染動物数

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010*
ブロンクス	6	13	26	6	14	13	14	0
ブルックリン	0	0	1	0	0	1	0	1
マンハッタン	0	0	0	1	0	0	12	39
クイーンズ	0	0	1	2	1	1	1	0
スタッテン島	0	1	0	35	29	4	1	0

*1月1日～2月16日

ニューヨーク市衛生局は、アライグマと周辺住民を狂犬病から守るため、セントラルパーク及びその周辺のアライグマに対するワクチン接種を開始すると2月16日発表しました。衛生当局は、2009年12月以降、セントラルパーク及びアッパーマンハッタンで30匹以上のアライグマが感染していたと報告しました。捕獲されたアライグマはワクチン接種後、標識を付けられて放されることとなります。ニューヨーク市では、狂犬病は他の動物よりもアライグマに多くみられます。